

(5) 結果の分析と指導の改善

意識調査の結果の傾向(P93 参照)

向上の傾向がみられるもの

- ・家庭での学習習慣
- ・家族とのコミュニケーション

- ・普段から計画を立てて勉強している **設問 15**
- ・家で手伝いをしている **設問 17**
- ・趣味や遊び、進路や将来の仕事、学校でのできごとや友だちのことについて家族と話をする **設問 20**
- ・家族からほめられたり、励まされたりする **設問 21**



小・中学校において、学校と家庭とが連携して、学習習慣や生活習慣の定着を図ることに努めてきた成果と考えられる。

- ・「岐阜県における児童生徒の学習状況調査」の意識調査の結果・分析の活用
- ・「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえた保護者向け啓発資料の活用
- ・「学力向上実践推進事業」の成果の普及

学校における指導のポイント(継続したいこと)

- ・児童生徒が家庭での学習習慣を身に付けることができるよう、学校において家庭学習の仕方について具体的な指導を、計画的に行う。
- ・児童生徒が自信と誇りをもって生活できるよう、家庭において子どもとのコミュニケーションや子どもを認め励ますことについて、保護者に働きかける。

ここ数年同様の傾向がみられること

- ・勉強に対する意識
- ・勉強に対する意欲
- ・授業内容の理解

- ・勉強が好き **設問 1**
- ・勉強が大切 **設問 2**
- ・努力して勉強しなければいけない **設問 3**
- ・自分から勉強しようとする気持ちがある **設問 4**
- ・学校の授業が分かる **設問 6**



平成16～19年度の4年間においては肯定的な回答の割合が伸びており、授業改善により一定の成果をあげてきたと考えられる。

学校における指導のポイント

- ・日常生活や社会との関連を図り、児童生徒が実感を伴った理解をしたり、学習したことの有用性を感じたりできるよう、一層の授業改善を図る。

意識調査とペーパーテストの結果との相関

相関があると考えられるもの

【意識調査における回答】

- ・勉強が好き (P 94)
- ・勉強が大切 (P 94)
- ・努力して勉強しなければいけない (P 95)
- ・自分から勉強しようとする気持ちがある (P 95)
- ・学校の授業が分かる (P 96)
- ・分からないところがあったら、自分で調べたり誰かに尋ねたりする (P 96)
- ・学校から帰ってから勉強する (P 100)
- ・普段から計画を立てて勉強している (P 100)
- ・自分のことは自分で気を付けてできている (P 102)
- ・やらなければいけないこと、やっではいけないことについて家族から注意される (小学校) (P 102)
- ・趣味や遊び、進路や将来の仕事、学校でのできごとや友だちのことについて家族と話をする (P 103)
- ・家族からほめられたり、励まされたりする (P 103)



【ペーパーテストの結果】

- ・正答率が高い傾向がみられる

学校における指導のポイント

- ・学習意欲を高めるとともに、学んだことの有用性を実感できる指導を工夫する。
- ・児童生徒が分からないと感じたことが解決できるような指導を工夫する。
- ・家庭学習の方法について具体的に指導する。

家庭における対応のポイント

- ・やらなければいけないこと、やっではいけないことについてきちんと注意する。
- ・子どもと会話をする。
- ・子どもががんばっていることについてほめたり、励ましたりする。

児童生徒が授業で「楽しい」と感じる時 (P 87 ~ 89)

「楽しい」と感じる時

- ・自分でできた、分かったと実感できたとき
 - ・読み取りや、観察、見学、操作、実験、会話等の活動をしているとき
- 傾向
- ・「先生の説明を聞いて分かったとき」を「楽しい」と感じる児童生徒の割合は、どの教科においても学年が上がるにつれて増えている

学校における指導のポイント

- ・「できた」「分かった」と児童生徒が実感できるよう指導の一層の工夫改善を図る。
- ・授業における、それぞれの学習活動に児童生徒が満足感を得ることができるよう指導と評価を一層、工夫改善する。
 - * 観察や話し合い等が児童生徒にとって必然があり、その活動を行うことによって、「分かるようになった」と実感できるよう指導過程を工夫する。
 - * 「～に興味をもって観察したので、～を見つけて、～という決まりがあることを発見できたんだね。」というように学習の過程を価値付ける。
- ・教師自身が、分かりやすい説明をすることも一層配慮する。